



# 二輪草だより

平成30年9月号  
発行:二輪草センター

## センターの活動予定

- ◆10月22日 イブニングセミナー開催
- ◆10月30日 第31回 二輪草セミナー開催
- ◆10月下旬 二輪草プラン推進委員会議 二輪草だより10月号発行

## 「医学概論3 ワークライフバランスを考えよう」終了報告

二輪草副センター長 安孫子 亜津子

平成30年 8月20日に、医学科3年生を対象に「ワークライフバランスを考えよう」の講義および実習を行いました。

最初に教育センターの蒔田先生から開催のご挨拶をいただき、その後、二輪草センター菅野先生からの医師のワークライフバランスと二輪草センターについての講義をしていただきました。

「グループ討論」では、15グループに分かれて、4つの想定ケースに関して、キャリアプラン、問題点などを議論してもらい、討論内容は各グループから発表してもらいました。自らのキャリアアップのみではなく、パートナーのキャリアも考慮することや、育児、親の介護など家族の変化に対応することの難しさを知り互いに相談することの大切さや、使える制度を知っておくことの重要さなどを学んでもらいました。他のグループ発表に対する質問や意見も積極的に聞かれました。



「先輩医師のワークライフ体験談」では、3人の先生からのお話を聞きました。皮膚科の大坪紗和先生からは、4人のお子さんを出産された時のご経験を詳しくお話いただきました。育児をしながらも働ける喜びを感じてチャレンジしている姿は印象的でした。耳鼻咽喉科の大原賢三先生は、奥さんが医師であることの良さや、自ら育児や家事にかかわっているお話をユーモアたっぷりにしてくださいました。ママメンということばも教えていただきました。今年度北大から病理部の教授にご就任された谷野美智枝先生からは、女性が働きやすいとは言えなかった過去を振り返って、どのようにキャリア形成してきたかのお話をいただきました。患者さんの役に立つ医師像を明確に持ち続け、そしてお子さんへの愛情もたっぷり注ぎながら仕事と家庭を両立されている姿が素敵でした。

最後に二輪草センター長の山本先生から、マインドセットの分析について教えてもらいました。この講義をきっかけに、キャリアプランを考え、ワークライフバランスを充実させることのできる学生さんが増えることを期待します。

今年もグループ討論ではたくさんの先生方にタスクフォースとしてお手伝いいただきました。青木先生(免疫病理)、大原先生(耳鼻科)、神田先生(麻酔科)、菅野先生(二輪草)、黒田先生(小児科)、木ノ内先生(眼科)、齊藤先生(臨床検査)、佐藤先生(教育センター)、高林先生(放射線科)、竹田先生(皮膚科)谷野先生(病理)、林先生(耳鼻科)、蒔田先生(教育センター)、横浜先生(産婦人科)、吉田先生(解剖)(五十音順、敬称略)、お忙しいところご協力いただきましたことを深謝いたします。



## 【お問い合わせ先】

旭川医科大学 二輪草センター(復職・子育て・介護支援センター)  
〒078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1  
TEL 0166-69-3240(内線3240) サンニンヨレ FAX 0166-69-3249  
開設時間8時30分～17時15分 E-mail: [nirinsou@asahikawa-med.ac.jp](mailto:nirinsou@asahikawa-med.ac.jp)  
ホームページ <http://www.asahikawa-med.ac.jp/hospital/nirinsou/>



## イブニングセミナー開催のお知らせ

日時:平成30年10月22日(月)18:00～19:00

場所:臨床第3講義室 対象:全職員・学生

講師:蓮沼 直子先生

秋田大学 総合地域医療推進学講座 寄附講座 准教授

『アンガーマネジメント』について



## 「夏休みキッズスクール」終了報告

平成30年7月26・27日の二日間、第21回夏休みキッズスクールを開催しました。初参加5名を含む、総勢23名の子ども達が参加しました。



第1日目、最初のプログラムは皮膚科学講座の上原治朗先生の特別授業「皮ふの色、いろいろ」です。スライドを使いながら、皮ふが様々な色に変化する原因や、色の見え方・光の感じ方について解りやすく教えて下さいました。その後はダーモスコープという特殊なルーペを使用し、ほくろの観察をしました。目で見ると丸く見えるほくろを拡大すると、実際は丸ではなかったりしわや毛穴などが見えたり子ども達も興味津々な様子でした。

午後からは学生ボランティアによる特別授業です。「知らなかった!?夏に気を付けること」と題する劇を通して日焼け止めの種類や塗り方をユーモラスに教えてくれました。その後は熱中症に関するクイズもあり、子ども達は楽しみながら暑い夏を過ごすための知識を学びました。その後は体育館遊びです。暑い中でしたが、お兄さんお姉さんと鬼ごっこやバトミントンなど汗びっちょりになりながら遊び、第一日目は終了しました。

第2日目は上富良野町にある深山峠アートパーク、トリックアート美術館に行きました。まずはトリックアート美術館見学です。平面に描かれた物や人物が立体的に浮かび上がったり、見る位置によって変わる絵に大興奮の子ども達。様々なトリック写真も撮影し大満足の様子でした。その後は深山峠アートパーク職員の山田さんに教えて頂き、エッチンググラス作りをしました。専用の工具を使いガラスの表面を削りながら絵を描いていきます。真剣な眼差しで取り組み、世界に1つしかない素敵なお品に仕上がりました。お昼ご飯を食べた後は、旭川空港公園グリーンポートに行きました。到着してすぐに、離陸する飛行機を見ることができて大喜び!「バイバーイ!」「いってらっしゃい!!」と手を振り見送っていました。とても暑い中でしたが、水分補給をしながら広場やネット遊具でも遊び、元気いっぱい子ども達でした。その後は医大に戻り、医学科5年生の滝口僚也くんによるマジックショーを開催!短い時間でしたが、次々披露されるマジックに拍手と歓声が教室中に響いていました。最後は閉校式で、副校長先生の菅野先生より終了証をもらって、2日間のキッズスクールは終了しました。今回も学生ボランティアの皆さんには大変お世話になりました。お忙しい中、14名の学生が参加して下さいました。事前の準備や後片付けを含め積極的にお手伝い頂き、子ども達と楽しく過ごして頂き、心から感謝致します。また、藤井智子教授をはじめ、いつも快く開催場所をお貸し下さる看護学講座の諸先生方、ご理解ご協力を頂いております各部署の皆様にも心よりお礼申し上げます。



## 病児一時預かり室、バックアップナース、病児・病後児保育室、カウンセリング相談 【8月20日～9月19日までの利用状況】

病児一時預かり室	依頼回数	0回	利用回数	0回
バックアップナース	依頼回数	21回	稼働回数	21回
病児・病後児保育室	依頼回数	15回	利用回数	13回
カウンセリング相談			利用回数	4回

\* 病児一時預り室、病児・病後児保育室は全職員・学生がご利用になれます